



## GVRP コマンド

---

この章は、次の項で構成されています。

- [clear gvrp statistics](#) (2 ページ)
- [gvrp enable](#) (グローバル) (3 ページ)
- [gvrp enable](#) (インターフェイス) (4 ページ)
- [gvrp registration-forbid](#) (5 ページ)
- [gvrp vlan-creation-forbid](#) (6 ページ)
- [show gvrp configuration](#) (7 ページ)
- [show gvrp error-statistics](#) (8 ページ)
- [show gvrp statistics](#) (9 ページ)

# clear gvrp statistics

すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスの GVRP 統計情報をクリアするには、**clear gvrp statistics** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

## 構文

**clear gvrp statistics** [*interface-id*]

## パラメータ

**Interface-id** : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID には、イーサネット ポートまたはポート チャネルのいずれかのタイプを指定できます。

## デフォルト設定

すべての GVRP 統計情報がクリアされます。

## コマンドモード

特権 EXEC モード

## 例

次に、gi1/0/4 のすべての GVRP 統計情報をクリアする例を示します。

```
switchxxxxxx# clear gvrp statistics gi1/0/4
```

## gvrp enable (グローバル)

Generic Attribute Registration Protocol (GARP) VLAN 登録プロトコル (GVRP) をグローバルに有効にするには、**gvrp enable** グローバルコンフィギュレーションモードコマンドを使用します。デバイスの GVRP を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

**gvrp enable**

**no gvrp enable**

### パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト設定

GVRP はグローバルに無効となっています。

### コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

### 例

次の例では、デバイスの GVRP をグローバルに有効となっています。

```
switchxxxxxx(config)# gvrp enable
```

## gvrp enable (インターフェイス)

インターフェイスでGVRPを有効にするには、**gvrp enable** インターフェイス (イーサネット、ポートチャネル) コンフィギュレーションモードコマンドを使用します。インターフェイスでGVRPを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

**gvrp enable**

**no gvrp enable**

### パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト設定

すべてのインターフェイスでGVRPは無効です。

### コマンドモード

インターフェイス (イーサネット、ポートチャネル) コンフィギュレーションモード

### 使用上のガイドライン

アクセスポートは常に単一のVLANのみのメンバーであるため、VLANに動的に参加しません。タグなしVLANのメンバーシップはタグ付きVLANと同じ方法で反映されます。つまり、PVIDをタグなしVLAN IDとして手動で定義する必要があります。

### 例

次に、gi1/0/4でGVRPを有効にする例を示します。

```
switchxxxxxx(config)# interface gi1/0/4  
switchxxxxxx(config-if)# gvrp enable
```

## gvrp registration-forbid

ポートのすべてのダイナミック VLAN を登録解除し、ポートでの VLAN の作成または登録を防止するには、**gvrp registration-forbid** インターフェイス コンフィギュレーションモード コマンドを使用します。ポートで VLAN を動的に登録できるようにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

**gvrp registration-forbid**

**no gvrp registration-forbid**

### パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト設定

ポートでの VLAN の動的登録が許可されます。

### コマンドモード

インターフェイス (イーサネット、ポート チャネル) コンフィギュレーションモード

### 例

次に、gi1/0/2 の VLAN のダイナミック登録を禁止する例を示します。

```
switchxxxxxx(config-if)# interface gi1/0/2  
switchxxxxxx(config-if)# gvrp registration-forbid
```

## gvrp vlan-creation-forbid

ダイナミック VLAN 作成または変更を無効にするには、**gvrp vlan-creation-forbid** インターフェイス コンフィギュレーションモード コマンドを使用します。ダイナミック VLAN の作成または変更を有効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

### 構文

**gvrp vlan-creation-forbid**

**no gvrp vlan-creation-forbid**

### パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト設定

有効

### コマンドモード

インターフェイス（イーサネット、ポート チャネル）コンフィギュレーションモード

### 例

次に、gi1/0/3 でのダイナミック VLAN の作成を無効にする例を示します。

```
switchxxxxxx(config-if) # interface gi1/0/3  
switchxxxxxx(config-if) # gvrp vlan-creation-forbid
```

# show gvrp configuration

タイマー値などの GVRP コンフィギュレーション情報、GVRP とダイナミック VLAN の作成を有効にするかどうか、GVRP を実行しているポートを表示するには、**show gvrp configuration EXEC** モード コマンドを使用します。

## 構文

**show gvrp configuration** [*interface-id* | **detailed**]

## パラメータ

- **interface-id** : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID は次のタイプのいずれかです。イーサネット ポートまたはポート チャネル。
- **detailed** : (オプション) 現在のポートに加えて、現在のポート以外のポートの情報を表示します。

## デフォルト設定

すべての GVRP 統計情報は、すべてのインターフェイスに対して表示されます。**detailed** を使用しないと、提供ポートについてのみ表示されます。

## コマンドモード

ユーザ EXEC モード

## 例

次に、GVRP の設定を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx# show gvrp configuration
GVRP Feature is currently Enabled on the device.
Maximum VLANs: 4094
Port(s) GVRP-Status  Regist-   Dynamic
          ration    VLAN Creation  Timers(ms)
          -----  -----
          Join   Leave   Leave All
-----
gil/0/1   Enabled   Forbidden  Disabled   600    200    10000
gil/0/2   Enabled   Normal     Enabled    1200   400    20000
```

# show gvrp error-statistics

**show gvrp error-statistics** EXEC モード コマンドを使用すると、すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスの GVRP エラーの統計情報が表示されます。

## 構文

**show gvrp error-statistics** [*interface-id*]

## パラメータ

**interface-id** : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID には、イーサネット ポートまたはポート チャンネルのいずれかのタイプを指定できます。

## デフォルト設定

すべての GVRP エラーの統計情報が表示されます。

## コマンドモード

ユーザ EXEC モード

## 例

次の例では、GVRP エラー統計情報を表示します。

```
switchxxxxxx# show gvrp error-statistics
GVRP Error Statistics:
-----
Legend:
  INVPROT  : Invalid Protocol Id
  INVATYP  : Invalid Attribute Type  INVALEN  : Invalid Attribute Length
  INVAVAL  : Invalid Attribute Value INVEVENT: Invalid Event
  Port    INVPROT  INVATYP  INVAVAL  INVALEN  INVEVENT
-----
gil/0/1   0         0         0         0         0
gil/0/2   0         0         0         0         0
gil/0/3   0         0         0         0         0
gil/0/4   0         0         0         0         0
```



# show gvrp statistics

すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスのGVRP統計情報を表示するには、**show gvrp statistics EXEC** モード コマンドを使用します。

## 構文

**show gvrp statistics** [*interface-id*]

## パラメータ

**interface-id** : (オプション) インターフェイス ID を指定します。インターフェイス ID には、イーサネット ポートまたはポート チャンネルのいずれかのタイプを指定できます。

## デフォルト設定

すべての GVRP 統計情報が表示されます。

## コマンド モード

ユーザ EXEC モード

## 例

次に、GVRP 統計情報を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx# show gvrp statistics
GVRP statistics:
-----
Legend:
```

rJE :	Join Empty Received	rJIn:	Join In Received
rEmp:	Empty Received	rLIn:	Leave In Received
rLE :	Leave Empty Received	rLA :	Leave All Received
sJE :	Join Empty Sent	sJIn:	Join In Sent
sEmp:	Empty Sent	sLIn:	Leave In Sent
sLE :	Leave Empty Sent	sLA :	Leave All Sent

Port	rJE	rJIn	rEmp	rLIn	rLE	rLA	sJE	sJIn	sEmp	sLIn	sLE	sLA
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----
gi1/0/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
gi1/0/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
gi1/0/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
gi1/0/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

```
show gvrp statistics
```

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。